

# 後援会 便利回



写真提供/多久和 宏明氏

## 繋がると未来が 生まれる...

千鳥福祉会後援会 会長  
**稲塚 公郎**  
前 松江土建株式会社相談役



物事すべからく10年継続できてこそ本物だとよく言われますが、この千鳥福祉会後援会活動も12年目を迎えました。活動開始以来、実に多くの方々との「出会い」と活動を共にしてきた「つながり」は、かけがえのないものになっていると感じるところでございます。そして、この継続の裏には、後援会活動の内容を「地域の行事として定着するまでこの夏祭りを開催し続ける。そのことで千鳥福祉会を後援する」のついに絞り、全身全霊を傾けてきたことがあるように思います。

十年前を思い起こせば、当時の世情はどうであったでしょうか。地域社会のつながり、ご近所とのコミュニケーションや助け合いの薄らぎは過疎化と同時に問題にされながらも、本気で政治課題として取り組むほどには重大視されてはいませんでした。それでもその危機感は誰しもが抱いていたに違いありません。そんな中での、「地域の祭り」を作り上げるという意気込みは、大切な社会貢献として会員の皆様の胸に響くものであったわけです。

そして、その祭りを一回も中止することなく継続できたことに感謝すると同時に、この祭りに参加して下さる多くの方々の様子から「千鳥福祉会の『障がいがある方のために優しい地域社会を作る』という途方もない使命感の一助になったことは間違いない」と感じるようになってきたことです。この大きな成果・達成感を皆さんと共に味わいたいと思うところです。きっと、多くの会員の皆様もそのように感じていらっしゃるのではないのでしょうか。これは、紛れもなく、一年一年創り上げてきた11年の実績です。

地域社会再生の大切さを日本中に浸透させ、私たちもこの取り組みの大切さに気づききっかけとして、東日本大震災があることは確かですが、私たちの願いは、何かがあってからではなく何時も安心して暮らせる社会です。

地道ではありますが「繋がりを作る」という目的を大切に、多くの方の志を集めて、今後も活動を続けていくことがこの千鳥福祉会後援会の価値になるのではないのでしょうか。今年も、東日本大震災復興支援を掲げた千鳥福祉会サマーフェスタ2013が、皆で楽しむ夏祭りになることを祈りたいと思います。



昨日は後援会総会には外部の方が43名とたくさん参加していただき、支えられていることを実感しました。また、私は事務職ではありますが福祉に携わって二十二年になります。それでもあいサポーター研修で知らないこともあり参加してよかったです。携わっている私も知らないことがあつたし、一般の方にもっと知ってもらっては大切なことだと思いました。「寄り添って知ってもらうことは大切なことだ」という言葉に心を打たれ、家に帰って子供とちょっと手話をしてみました。事務員だけでも地域で少しずつでも支援に繋がります。

田中志保

平成24年度  
千鳥福祉会後援会総会  
平成25年5月9日(木)  
お礼と  
ごあいさつ 千鳥福祉会 理事長 山本 昌子

山々の緑が迫ってくる季節になりました。後援会会員の皆様にはますますご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。  
お陰様で、5月9日には、たくさんの方々のご出席を頂き、今年度の総会並びに法人主催のあいサポーター研修を盛会裏に開催することができました。心よりお礼を申し上げます。  
11年間という長い間、理事としてお世話になりました司建設佐藤常務様、神谷鉄筋野津常務様、後援会立ち上げにも関わっていただくなど本当にありがとうございました。  
また、後任の理事として、松江土建(株)川上代表取締役社長様、島根電工(株)竹内取締役所長様、安島工業(株)安島代表取締役社長様、新和設備工業(株)新田常務取締役様に就任頂くことになり、力強く12年目を発することが出来ます。7名の理事様、2名の監事様には普段の業務でご多忙であるにも関わらず、快くご承諾頂きありがとうございました。  
また、本会の取り組みにご賛同いただき、新会員に登録いただきました方々は法人会員2社、個人会員15名で会員数は194名になりました。大きな支えを頂いていることに感謝し、千鳥福祉会役員一同、障がいがある方々の支援を第一とし、会員の皆様にも誇りをいだけて頂けるよう日々努力を重ねたいと強く胸に感じるところでございます。そして、夏祭りには、皆さんとの暑い・熱い時間を楽しみに万端の準備をしたいと思っております。  
どうか、今年もよろしくお願致します。尚、総会欠席の会員様には、後ほど総会資料をお届けいたします。

あいサポーター研修で思い出したんですが、お肉屋さんでバイトをしていたことがあって、その時にご夫婦とも言語障がいがある方で聞き取りにくく「カレー?汁…」と聞こえて…結局は汁に入れるお肉。どれくらい?という話で「2」が伝わったので200グラムですかと聞いたら二人分。他に人がいなくて一人でバコックしていました。でも自分たちの欲しいものを粘り強くちゃんと伝えようとしていて…あの時を思い出しました。  
坪倉 穂

あいサポーター研修は新鮮でした。わが家の隣に久々に越してこられたのですが、自治会のルールなどがわからなくて「ゴミはどうしたらいいですか」と尋ねられた。母は「あーだこーだ」…そしてゴミ置き場を案内して…このおせっかいな人が必要かなと思っていました。仕事の枠で考えると後援会が地域の方との関わりが広がっているんだなあと感じました。地域で普通に暮らせて、その暮らしの中から一つ一ついいことを見つければいいなあと感じました。  
小原玲子

東日本大震災復興支援・第12回 千鳥福祉会  
**サマーフェスタ 2013**  
2013年7月21日(会場)  
午後4時～午後8時30分 持田寮・L.C.C.ういんぐ  
[前庭・体育館] 松江市東持田町1415

千鳥福祉会の  
ホールの女王様!

ゲスト 総合司会  
**倉内たい子**

この日は  
**演歌&ポップス**

楽しさ爛漫!

露店・緑日  
共通チケット  
**1,000円**  
(50円券×22枚綴り)

会場ご案内

お問合せ 千鳥福祉会2013サマーフェスタ実行委員会  
TEL (0852) 24-8820

主催/千鳥福祉会・千鳥福祉会利用者自治会  
共催/平成ニュータウン子供会・千鳥福祉会関連施設保護者会・千鳥福祉会後援会  
後援/持田地区自治会連合会・持田地区社会福祉協議会

★恒例サマーフェスタいよいよ来月です!  
みなさん心の準備はできていますかー!

### 役員・新会員の紹介

- 役員紹介
- |     |       |                    |
|-----|-------|--------------------|
| 会長  | 稲塚公郎  | 前松江土建(株)相談役        |
| 副会長 | 伊藤立身  | 和幸(株) 監査役          |
| 副会長 | 長嶺幸恵  | 川津クラブ 代表           |
| 副会長 | 川上裕治  | 松江土建(株) 代表取締役社長    |
| 理事  | 竹内房雄  | 島根電工(株) 松江営業所取締役所長 |
| 理事  | 安島 壮  | 安島工業(株) 代表取締役社長    |
| 理事  | 新田喜一  | 新和設備工業(株) 常務取締役    |
| 監事  | 岩崎光春  | (有)CPアドス 代表取締役社長   |
| 監事  | 青山まゆみ | (株)ピープル 取締役        |

- 新会員紹介
- 〈法人会員〉
- |      |                  |
|------|------------------|
| 竹田宏一 | アイカム(株) 代表取締役    |
| 園 健治 | (有)富士見自工 代表取締役社長 |
- 〈個人会員〉
- |      |  |
|------|--|
| 高谷吉郎 |  |
|------|--|
- 〈職員〉
- |       |      |      |          |
|-------|------|------|----------|
| 福田悦己  | 持田寮  | 橋本美春 | 持田寮      |
| 梅木日香里 | 持田寮  | 熊谷尚子 | ういんぐ     |
| 植尾佳代  | ういんぐ | 深石恵美 | ういんぐ     |
| 田淵賢吾  | フレンド | 岡 智  |          |
| 木村恵子  | 共同生活 | 目次昌子 | ばすてる     |
| 小原玲子  | ひまわり | 飯野正子 | ういんぐ     |
| 中西雄作  | 持田寮  | 周藤佳子 | ケアセンター大空 |



## 「思いやりと心配り」

千鳥福祉会後援会  
副会長 伊藤 立身  
(和幸株式会社 監査役)

九州、四国、中国が梅雨入りしたとの事、鬱陶しい季節と成りますが、千鳥福祉会後援会の皆様に於かれましては益々

ご健勝にてお越しの事とお喜び申し上げます。

去る5月9日に開催されました平成25年度 千鳥福祉会後援会総会も、皆様方のご協力のお陰をもちまして、各審議事項も滞りなくご承認して頂く事が出来ました。厚くお礼を申し上げますと共に心から感謝を申し上げます。本当に有難うございました。

先の後援会便りに、会長様と各会員の皆様方からの「絆」(繋がり)のお便りが数多く投稿され、興味深く読ませて頂きました。今回のテーマは(今、書きたい事)という事も有りまして、改めてそれに関連する事に付いて書いて見たくなりました。

私と千鳥福祉会・後援会の皆様方との繋がりは、「サマーフェスタ」の始まりからです。今日まで続いているという事は本当に有り難い事と思っています。特に私自身、千鳥福祉会法人の役職員の皆様と共に開催準備の一員として第1回目から参加させて頂いていますが、回を重ねる毎に、法人の皆様方が一つの目的に向かって行く姿が、ハイレベルに成っているのには本当に感心致しております。その姿勢は何処から来ているのか素朴な疑問が湧いてきます。自分勝手な解釈と前置きをさせて頂きますが、その答えはすぐ分かりました。社会福祉法人千鳥福祉会の山本理事長様が提唱推進される「理念(あなたただけの生き方を支援)」は「思いやりと心配り」から来ているものと感じました。

理事長様及び法人職員様がハンディキャップを持った方々のセーフティーネットの役割と、障がいの軽度・重度隔たり無く常にその信念をもって福祉の仕事に接して居られる姿を見ますと「原点は此処にあり」と確信致しました。言葉では簡単ですがなかなか出来る事では有りません。

世の中一般的に「思いやりと心配り」の気持ちが失われて行く中ですが、やはり「絆・繋がり」の原点は、自己中心的な思いは無くし、関わる皆さんの「思いやりと心配り」の心から醸成されるものだと思っております。私自身もその信念を持ち続けて日々を過ごして行きたいと思えます。



## 「気づくとそばに!」

千鳥福祉会後援会  
監事 青山まゆみ

鮮やかな新緑の季節も過ぎ早くも梅雨入りとなりました。会員の皆様にはお元気でご活躍のことと思います。

今年は何か体に良いことをしようと考えていましたが、3月から同級生のいとこと二人で朝日山登山入口の石段を登ることにしました。片道500段以上の石段ですが、途中平坦な道もあり往復30分位のコースです。石段の先には広いグランドゴルフ場があり、日本海が一望できるので、夕日が沈む頃に合わせて登っています。春は満開の桜の下で夕日が水平線に落ちていくのを「癒されるよね〜っ」と言いながら眺め、毎日表情の違う海と空を満喫しています。

自分達は田舎に住んでいると思っはいるものの、実はその田舎の良さ、自然の恩恵を活かしていない人が多いと思います。人は「そんな余裕(暇)があっはいね」と言いますが、やるよと決めれば案外時間のやりくりは出来るものです。

道の両側にはモミジや様々な木々が生育していて新緑の頃も目に爽やかでしたが、秋の紅葉もささかし素晴らしいことでしょう。

ところで今年のサマーフェスタ。フリーマーケットは体育館の中での店開きとなっています。是非、足をお運びください。お待ちしております。



## 「親孝行」

千鳥福祉会後援会  
副会長 長嶺 幸恵

“親孝行するも親はなし”といいますが、私にはずっと続けていることがあります。それは、実父の墓参りです。57歳で亡くなってから27年、月命日には必ず墓参りをします。実父が亡くなった年齢と同じになった今、実父の偉大さをつくづく感じます。人を氣遣い、人にやさしく、自分の両親を見送り、子供はすべてかたづけ、定年までもう少し。これから第3の人生を楽しく過ごせるはずだったのに…。

五十肩の治療をしていたけど、なかなかよくなりず、検査をしてもらうと腕に軟骨腫ができていたのです。手術をし、腫瘍は取り除いたものの、リンパに転移。それから身体中あちこちに再発、幾度となく手術、放射線治療等つらい入院生活の中、弱音を吐くこともなく、見舞いに来てくれる人には感謝をする姿を見るにつけ、なんと強く報恩感謝の人なのだと思ったものです。

亡くなった後も、命日には必ずお参りに来てくださる方、近所の知人には惜しまれ、たまたで思い出していただき、人の心につつまでも残っている姿に感動しました。世の中には、目に見える宝と見えない宝があり、その中で最も美しい宝は“人の心”だそうです。

まさに見えない実父の心の実証、心の財なのだと。“親の背中を見て子が育つ”といひます。実父の背中を思い出し、実父の心(心の財)を受け継いでいくこと、そして私の背中を見て、子供たちがそれを引き継いでくれることが、今の私にできる実父への親孝行だと思ひます。そして後悔しないよう、実父の分も長生きしてくれるように、実母に親孝行していきたいと思ひます。



## 「できる仕事をするために求められること」

千鳥福祉会後援会理事  
島根電工(株)松江営業所  
取締役所長 竹内房雄

仕事が出来る人間で無ければ話にならないのが世の中です。仕事ができる人になるため

に守ってもらいたいことがあります。特に若い方たちに気にかけてもらえればと思ひ書いてみました。  
※第一は、健康であること。「健康こそが社会人としての礼儀の第一」と言われています。この健康を維持するために、夜更かしや暴飲、暴食の習慣を控えましょう。健康的な顔、体つきは、職場でも、お客様にも好印象を与えるものです。化粧も程よくし、ヒゲをきちんと剃り、つめや髪の手入れも行き届いた人ではならないと思ひます。

※第二は、挨拶です。挨拶でその人のやる気や、仕事に向上心があるか、ないかが分ってしまう。「気持ちのこもった感じのいい挨拶を心がけましょう。」

※第三、は笑顔です。仕事や、職場がうまくいかないこともあるだろうし、難しい問題も次々に起こってくる。上司が怒り狂うこともあるでしょう。しかし、自分だけは常に前向きで明るく笑顔で仕事に立ち向かってもらいたい。「笑顔の出ない仕事はやめましょう」

※第四は、仕事の納期は絶対守るということです。どんな仕事にも納期があり、どんな依頼にも時間の制約があるものです。必ずそれを確認し、全力で仕上げなければなりません。「納期を必死に守り続けていくことで人は力をつけていくと思ひます。」

※第五は、報、連、相をしつかりすることです。「報連相」ではしっかりと相手の真意を聞き取り確認することを心がけることが大切です。仕事の出来ない人の特徴は、自分の都合のいいように考える癖をもっていることです。この癖がなくならない限りいつまでも仕事が出来ないし、人間的にも成長できません。全ての問題を自分のものでとらえ、何とかできないかと反省、工夫し勉強する人であって欲しい。そうしなければ、成長する人、仕事の出来る人にならないかもしれません。

## 「後援会について」

千鳥福祉会後援会副会長  
松江土建(株)  
代表取締役社長 川上裕治

盛夏の候ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

私共の会社は、千鳥福祉会設立以来、多くのご高配を賜り、ご支持申し上げて参りましたご縁から、浅学非才を省みず、この度後援会の副会長に就任致しました。

総会に出席させていただきましたところ、私と同じ数多くの新規加入者の皆様や、永年ご支援されていた方への感謝状贈呈などを目の当たりにして改めて身の引き締まる思いをしたところであります。

こうした思いを胸に、千鳥福祉会様の理念、使命を一步でも実行出来るように努めたいと考えております。

千鳥福祉会様の最大行事であります「サマーフェスタ」は、今年が第12回目の開催となり、回を重ねる毎に反省会を経て充実されているようであります。

また、祭りの基本は来場者が「楽しい」と感じ、そして関わる人達が「皆様の楽しい」を感じ、エネルギーにして祭りを楽しむことをコンセプトにされており、このイベントを楽しむ人、仕込む人を合わせると例年3千人にものぼる、多くの人ととの絆が生まれて盛大に開催されてきておられると聞いております。

私も2013のサマーフェスタは皆様に「楽しい」を感じていただけるように、最善を尽くす所存でございますので皆様方のご支援、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 「サマーフェスタの楽しみ」

千鳥福祉会後援会理事  
新和設備工業(株)  
常務取締役 新田 喜一

「先日行われました今年度の千鳥福祉会後援会総会にて理事を仰せつかりました。働き場をいただきましてありがとうございます。一生懸命がんばります。

さて、後援会の一大会イベント、サマーフェスタ2013の開催が近づいて参りました。皆様にとってサマーフェスタの楽しみとは、どんなものですか？

職員の方、利用者の方、来場される方、ボランティアの方、それぞれの立場で楽しみ方があると思ひます。私はボランティアの立場で考えてみました。毎年、弊社はボランティアスタッフとして数人参加しております。

私の担当はゴミ収集ですが、よく職員さんから「毎年ゴミ収集ばかりで申し訳ないです。今年は他の事をされては!」と声を掛けていただけます。ありがたい言葉と思ひつつも毎年ゴミ収集を続けているのは、そこに「楽しみ」を見つけたからです。一見単純作業の様ですが回を重ねていく内にゴミ箱の数、設置場所、小道具等、職員の方と改善、改良をしてきました。

昨年より良い仕事を!という「楽しみ」が毎年継続します。あるいは、「我々以外にゴミ収集をこなせるわけがない」という何の根拠もない自信で動き廻る弊社社員の一体感も楽しみのひとつかもしれません。昨年のボランティア参加者192名、それぞれの思いが笑顔を呼んでサマーフェスタは大成功でした。今年も昨年以上の盛り上がりで大成功を目指して皆で「楽しみ」ましょう。

## 「最近感じたこと」

千鳥福祉会後援会理事  
安島工業(株) 代表取締役社長 安島 壮

新しいランドセルを背負ったピカピカの小学生が登校した4月のことである。

私は、ある塗料の詳しい説明が欲しくて某メーカー(東京都内)に電話した。「島根の安島工業ですが、塗料事業部の〇〇様はいらっしゃいますか?」電話の向こうは、聞かからにうら若き女性である。「いつも有り難うございます。暫くお待ちください。」と言って保留ボタンを押したのだろう。受話器の向こうからクラシック音楽が流れ出した。そして、そのメロディーが途切れて、又、彼女の声に代わった。

「ただ今〇〇は席を外しています。ご用件をお伺いしておきますようか?」ここまでは何も問題はない。この後彼女から言い放たれた言葉は「何様ですか?」である。何様とは何だ!それを言うなら「どなた様ですか!」だろ!おろらくそのうら若き女性社員は、本年4月に入社したピカピカの1年生だろう。言葉は、上手に言われなくても適切に使うべきものだと思えられことを思い出しました。還暦が近くなると、どうでも良いことでも気軽に障りだすようになりました。

新しく役員を仰せつかりました「安島 壮」です。今後とも宜しくお願いします。



## 「講習会を受講して」

島根電工(株)  
三成 敬太

障がいについての講習会を受講し、考えさせられることがたくさんありました。

障がいにもさまざまなものがあり、重度のものから軽度のもの、同じ障がいで症状は一律ではないことを知りました。外見でわかるものだけでなく、外見ではわからない障がいの方もおられるので、配慮では人と接する必要があると感じました。

てんかんについての症状も詳しくわかりました。てんかんは発作がおきて痙攣や意識を失うこともあるそうですので、周りの人が発作を起こしたときに処置ができるようにしっかりと病気を理解し勉強をしていきたいと思ひます。

最後にあいさポーター研修を受けて、街で困った人がおられましたら自分から進んで声掛けをして、少しでもお役に立てればと思ひます。

あいさポーターバッジもありますので、街にでる時にはできるだけつけるようにし、障がいを持った方が接しやすいような環境を作っていきたいと感じました。とても勉強になることが多く、自分の意識も変わったと思ひますので、すごく良い講習でした。



## 「あいさポーター講習会に参加して」

新和設備工業(株)  
北野 伸昭

今回講習会に参加して、平成21年11月に鳥取県で創設された「あいサポート運動」を知りました。実は、私が幼少の

頃より父が病気により身体障がい者となりました。当然私も身体障がい者の方々についての知識は持っていません。ただ、今回改めて知ったことは、障がいの中に「高次脳機能障がい」という分類がある事でした。この障がいは、外見から分かりにくく、周囲の人が理解することが難しく、本人自身も自分の障がいを十分に認識できない事でした。外見で分かる障がいについては誰もが受け入れ易く、また対応もしやすいが、この障がいは、現代のストレス社会において誰もがかり易い障がいではないかということに気づきました。

日常生活や対人関係、仕事や学習などがうまく行かず混乱や不安の中にいる大人や子供たちが多くいるのではないかと?そんな人たちの生活や人生観をどの様に尊重し、関わりを持ち続けて行くのかは、とても大切なことであると同時に、とても繊細な対応が求められる事だと考えました。今の自分に、その様な方々を即見分ける事も出会った時の対応も出来ないと思ひますが、今後は、今回の学びを生かし自分の行動を少しでも変えるように努めていきたいと思ひます。

とても良い講習会を企画して頂きましたことに、感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 「あいさポーター研修を受けて」

松江土建(株)  
汐見まどか

「福祉社会」が叫ばれてから、久しくなります。国際連合では国際高齢者年、国際児童年、国際障害者年等を指定して対応

を呼びかけて取り組みを行って来ました。私も学生時代からいろいろな場面で障がい者教育等について学んで来たように思ひます。しかしながら、身近にそのような知人がいないこともあって無関心で意識することもなく過ごしてきました。

今回の研修を受ける機会を得て、人が等しく、共に生きる意味の重みを感じました。「幸せに生きる」ことはみんなの願いであり、「幸せに生きられる環境」こそみんなの求める社会だと思ひます。

今まで、高齢者に席を譲ることぐらいで、あえて、障がい者のみなさんがどんな思いで生活をされているか知ろうともしませんでした。みんなが幸せに暮らせる世の中になる為には、一人一人の小さな思いやりが必要です。私も今から、「あいさポーター」です。自然にちよっと勇気を出して、手を差し伸べようと思ひます。きつとお互いに、「にっこり」笑顔になれると思ひます。気持ち温かくなって幸せを実感できるような気がします。



## 「あいさポーター研修を終えて」

島根電工(株)  
池淵 孝司

今回「あいサポート研修」を受けて、障がいについてちゃんとした情報を知ることが出来て良かったです。今まで自分が全然障がいについて正しい知識を知らなかったと改めて知りました。

「あいサポート運動」という言葉も初めて知り、あいサポートバッジを付ける事がとても重要と知りました。サポートバッジを付けることで自分も周りに話かけやすくなるということ。そして、障がいのある方が自分に話かけやすくなるということを知りました。

今まで「あいサポート運動」では、特別な事を自分からしないといけなと思ひ込んでいたので、今回の研修で自分が特別な事をしなくてよい。まず、コミュニケーションを取る必要があるのだと知りました。

研修を終え、これからは何か特別な事をしようと構えるのではなく、あいサポートバッジを付けて、ちよっとした配慮やちよっとした声かけなどちよっとしたことから始めていきたいと思ひます。



## 「あいさポーター研修に参加して」

和幸冷温(株)  
松浦 仁志

この研修に参加して自分自身、障がいのある人に対して随分誤解している事がわかりました。何度か経験した事がある

のが、大声を上げて何か言っているのを聞いて私は「ここにくるな」という様な事を言っているんだなと、その様に感じ逃げる様な対応をしていました。本当は「何してるの?」とか「これ何?」とか私とコミュニケーションをとろうとしていたんじゃないか、私は今までの行動を振り返って障がいのある人を理解出来ずに無意識に傷つけていたという事に気づかされました。

今後、この様な場面に出遭った時自分にできる限り相手の事を思いやって行動したり話しかけてみたりしてみようと思ひました。

いつどんな時、私も障がいを持って人の助けが必要になるかわからないわけで、人を思いやる心が本当に大切な事なのだ改めて実感したこの『あいサポート研修』は私にとって大変有意義なものでした。